

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年10月

応募者名：富山県

事業の名称：都市計画道路二口北野線

実施都市名：富山県射水市

事業目的

本路線は、（都）小杉北部線から射水市役所大門庁舎付近を南北に結ぶ、延長約2.7kmの幹線道路であり、このうち、事業区間約0.9kmについては、（主）富山高岡線と旧大門町中心市街地を連絡するとともに、（主）新湊庄川線の一部として、射水市内の主要な市街地をつなぐ道路として重要な役割を担ってきている。

しかしながら、既設道路は幅員が狭小であることに加え、JR北陸本線（現あいの風とやま鉄道線）の高架下で高さ3.6mの制限がなされており、円滑な交通の阻害及び交通安全上の問題があった。

このため、車両交通の円滑化と安全な自転車歩行者空間の確保を図り、都市機能を充実強化することを目的として、事業実施したものである。

事業概要

事業名称：都市計画道路二口北野線

路線名：二口北野線（主要地方道新湊庄川線）

事業箇所：射水市大島北野～大門

事業延長：946m

幅員：16.0～19.0m

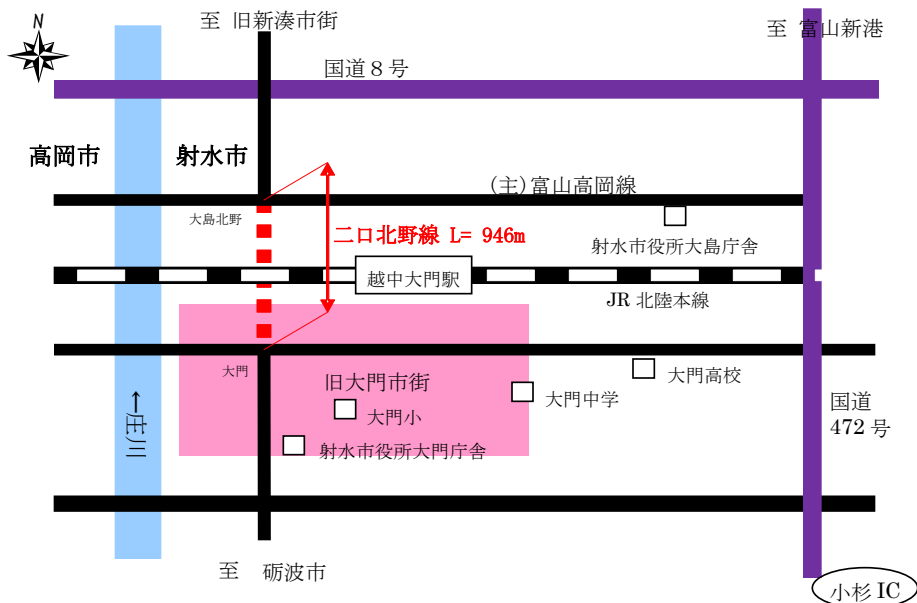
事業費：56億円

事業実施期間：平成8年度～平成26年度

本事業は、事業延長約0.9kmにおいて、車道部の拡幅、右折レーンの設置、鉄道立体交差部の高さ制限解除及び自転車歩行者道の整備を行うものである。

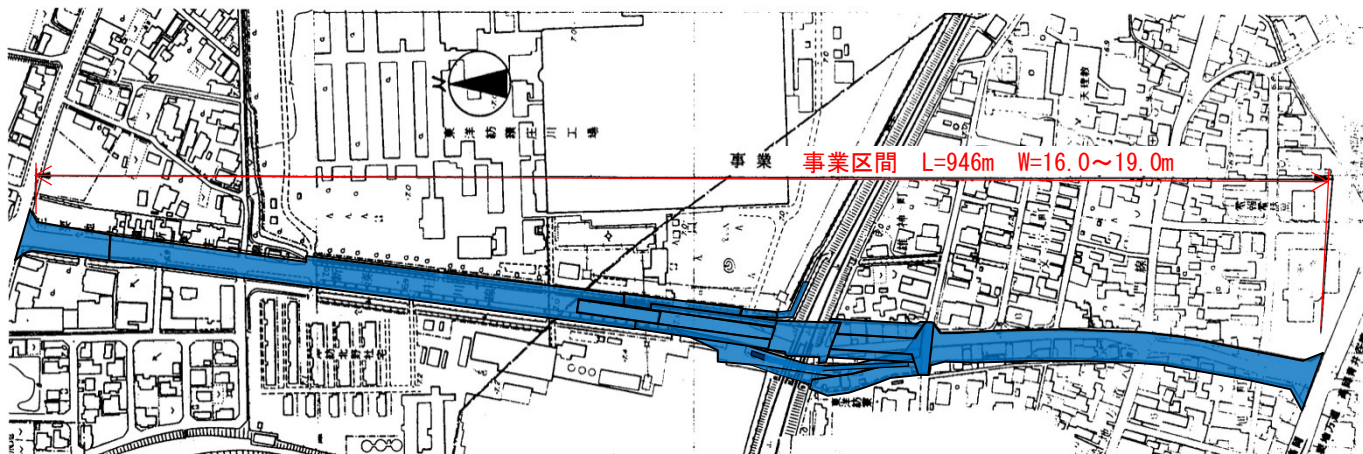
道路規格は第4種2級、設計速度は50km/hであり、道路幅員構成は、歩道3.5～4.5m、車道3.0～3.25mで、総幅員は16.0～19.0mとした。

事業位置図



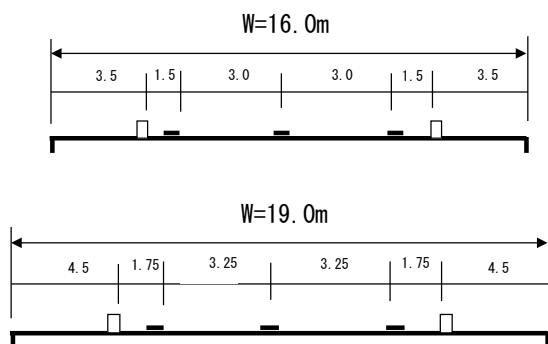
全体図（平面図・側面図・横断面図）

平面図

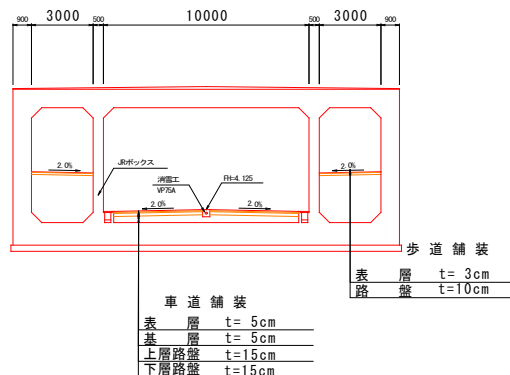


標準横断面図

(一般部)



(鉄道横断面部)



二口北野線の整備効果アピール資料

「事業の必要性」

- ①射水市のまちづくりのための市町村合併支援道路としての位置付けがあり、自動車交通量も比較的多い。（約7千台/日）
- ②射水市南部から射水市民病院へのアクセス道路であり、緊急車両の安全な通行確保が必要。
- ③周辺地区と高岡駅、小杉駅等を結ぶバス路線である。
- ④沿線に公共施設が多数存在し、通学路、生活道路として自転車歩行者道の整備が必須。

にもかかわらず、鉄道立体交差部において、幅員狭小、屈曲、高さ制限があり、当該路線の“最大のネック”となっている。

「事業高架」

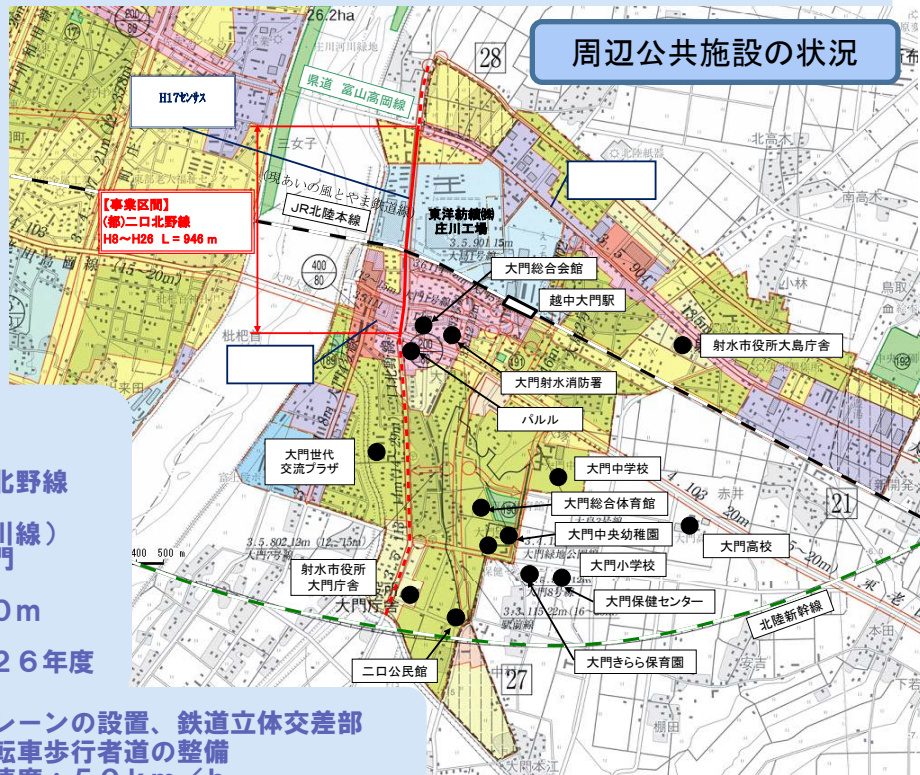
- 車両交通の円滑化、安全な自転車歩行者空間の確保
- 良好な道路空間・沿道環境の創出

○事業概要

事業名：都市計画道路二口北野線
路線名：二口北野線
（主要地方道新湊庄川線）
事業箇所：射水市大島北野～大門
事業延長：946m
幅員：16.0～19.0m
総事業費：56億円
事業期間：平成8年度～平成26年度

事業内容：車道部の拡幅、右折レーンの設置、鉄道立体交差部の高さ制限解除、自転車歩行者道の整備
道路規格：第4種2級 設計速度：50km/h
道路幅員構成：総幅員 16.0～19.0mのうち、
歩道3.5～4.5m、車道3.0～3.25m

周辺公共施設の状況



整備前



整備後



事業前写真

平成7年12月撮影

(鉄道立体交差部南側)



平成9年2月撮影



平成20年6月撮影

(鉄道立体交差部北側)



事業後写真

平成27年10月撮影



平成25年4月撮影



平成27年8月撮影

